

広報

いちき串木野

愛が いっぱいのまち

Ichikikushikino City

Public Relations



4

2019年4月22日発行
VOL.162

特集

- ・平成31年度 施政方針
- ・平成31年度 当初予算
- ・平成30年度 市政懇話会



Solaseed Air



「いちき串木野号」運行中！
鹿児島・東京・名古屋・沖縄

平成31年度 施政方針

平成31年第1回いちき串木野市議会定例会が、2月22日から3月27日まで開催されました。

田畑誠一市長は、平成31年度の市政運営について、「人口減少と少子高齢化」が大きな課題であると述べ、厳しい財政状況と縮小していく社会に対応すべく、現在実施している事業のあり方も再考しながら、官民協力や地域間連携、政策間連携を図り、「地域の総合力」を最大限に発揮させることで市民の皆様の満足度を高め、持続可能なまちの創造へつなげてまいりたいと所信を表明しました。

平成31年度の主な事業を紹介します。



政策課 (☎33-5634)

市民と行政とのパートナーシップによる『共生・協働のまちづくり』

コミュニティ・行財政

共生協働推進事業

「自治基本条例」に基づき、各地区まちづくり協議会・自治公民館などの支援を行います。

- ・地区まちづくり協議会等運営補助金
- ・まちづくり計画事業補助金(ソフト事業・ハード事業)
- ・地域リーダー養成研修事業
- ・コミュニティ自動車貸与事業

男女共同参画推進事業

男女が互いにその人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を発揮できる社会を目指すため、第3次男女共同参画基本計画に基づき理解促進に取り組めます。また、女性委員会に提言を求めるなど、多様な意見を反映する社会づくりを進めます。

広域行政の推進

鹿児島市・日置市・姶良市との連携中枢都市圏の協定締結により、雇用の場の創出や人材の育成、地域資源を活かした交流人口の拡大など、圏域全体の経済活性化を目指します。

- ・連携中枢都市圏連携事業(合同企業説明会、移住フェア出展)
- ・出会いふれあい企業対抗運動会

経営改革課の設置 NEW

10年、20年先を見据えた事務事業と公共施設の見直しなどの取組を進めます。

健康で文化的な生活を営める『元気で安心できるまちづくり』

生活環境

災害対策関連事業

災害に備えた安心できるまちづくりを進めます。

- ・防災センター整備事業(平成29年度～平成31年度)
 《平成31年度：工事》……鉄筋コンクリート造、地下1階地上2階建
- ・総合防災訓練実施事業
- ・自主防災活動助成事業
- ・防災メール配信事業
- ・災害時備蓄品整備事業

消防施設等整備事業

消防施設・装備等の整備により、消防救急体制の充実を図ります。

- ・消防装備整備事業(防火装備品)
- ・はしご付消防自動車更新に向けた基金造成
- ・羽島コミュニティ消防センターの屋根防水改修事業 NEW

上下水道事業

上水道では、水道料金の改定や隔月検針の導入等により経営基盤の安定化を図ります。また、下水道では、公共下水道終末処理場の長寿命化と地方公営企業会計適用事業を進めます。

- ・配水管耐震化事業
- ・萩元配水池整備事業
- ・串木野クリーンセンター長寿命化事業

環境保全・ごみ処理関連事業

新たに建設した最終処分場の適切な運営に努めるとともに、環境センター長寿命化の計画を策定します。

- ・最終処分場維持管理事業
- ・環境センター長寿命化基本計画検討事業 **NEW**
- ・市来エネルギーセンター解体事業

エネルギー対策関連事業

「(株) いちき串木野電力」の安定運営とサービスの向上に取り組むとともに、再生可能エネルギーの普及及び民間事業者による導入促進など、「環境維新のまちづくり」を進めます。

- ・(株) いちき串木野電力の加入促進
- ・風力発電などの再生可能エネルギーの導入促進



保健・医療・福祉

少子化対策・子育て支援

10月から国の施策とあわせて全ての子ども(3～5歳児)の幼稚園・保育園・認定こども園の保育料無料化を実施するほか、次期「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援の充実を図ります。

子ども医療費助成事業

中学校卒業までの医療費(保険適用分)を全額助成し、経済的負担の軽減、子育て支援の充実を図ります。

産婦健康診査事業 **NEW**

出産後の母親のケアを行い、安全・安心な妊娠・出産をサポートします。

生活困窮者への支援

生活リズムの乱れや家計に課題を抱えることによる生活困窮者に、訓練や指導・相談をととして、日常・社会的自立を図ります。

健康づくり推進事業

運動・体操教室等を開催し、健康増進や介護予防等に努めます。

- ・地域健康プランナー健康づくり事業(地域おこし協力隊)

出会いサポート・結婚新生活支援事業

結婚新生活を支援するための補助を行うなど、婚姻数の増加を図るための事業に取り組みます。

- ・縁結び隊事業
- ・結婚新生活支援事業

予防接種・検診等事業

予防接種及び各種診断により、健康増進と疾病の早期発見・早期治療を図ります。

- ・がん検診等事業
- ・高齢者肺炎球菌予防接種
- ・子育て支援モバイルサービス事業
- ・風しん抗体検査推進事業 **NEW**
- ・産後ケア事業
- ・特定検診受診率アップ事業
- ・風しん等ワクチン接種等補助
- ・新生児聴覚検査
- ・妊婦歯科検診

教育・文化

学校施設整備事業

安全で快適な教育環境の整備・充実を図るため、普通教室、職員室に空調設備(エアコン)を整備しています。

- ・市立小学校空調設備整備事業 **NEW**

「英語のまち」推進事業

英語のまちいちき串木野市として、児童生徒の英語力向上を目指すとともに、英語に親しめる環境整備等を行います。

- ・英語検定受験料補助
- ・英検2次指導
- ・英語暗唱・スピーチ大会
- ・語学指導外国青年招致事業(2名)
- ・外国語活動指導補助員配置(2名)

県立高等学校支援対策事業

県立高校の再整備方針に対応し、串木野高等学校及び市来農芸高等学校の振興と存続に向けた取組への支援を行います。

- ・串木野高等学校
入学準備金補助、部活動応援補助、国公立大学進学者への入学金補助 など
- ・市来農芸高等学校
寮生活支援補助、地域支援活動補助

子どもハローワーク事業 **NEW**

子どもの職業観や郷土愛の醸成を図るため、週末や長期休業日に子どもが地域で希望する職場体験活動を支援します。

女性委員会事業

多様な視点から市政に意見提言を行います。

文化振興事業

伝統芸能の保存・伝承に対する支援や文化振興に努めます。
また、史料集「古文書編」の発刊に向けて取り組んでいます。

- ・郷土芸能保存会運営補助
- ・萬造寺齊頭彰短歌大会補助
- ・日本遺産負担金

学校給食センター建設事業

平成32年4月供用開始予定の新学校給食センターを建設します。

青少年教育事業

子どもたちの放課後活動や地域での子ども会活動への支援を行います。

- ・寺子屋制度モデル事業
- ・放課後子ども教室開設
- ・子ども会育成連絡協議会運営補助



高校総体・国民体育大会・全国障害者スポーツ大会準備事業

今年7月に開催される高校総体と平成32年度に開催される国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に関する準備を進めます。

- ・南九州高校総体2019(バスケットボール)
- ・第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」
バレーボール成年男子・バスケットボール少年女子
デモンストレーションスポーツ 少林寺拳法・3B体操
- ・第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」
(車いすバスケットボール(身))



世界に羽ばたく力強い産業が展開する『活力ある産業のまちづくり』

産業経済

食のまちづくり推進事業

健康福祉・教育・観光交流・農業など、食を通して各分野と連携し横断的に積極的な取組を行います。また、ふるさと納税制度の活用により、本市特産品のPRや産業振興に努めます。

- ・「食のまちいちき串木野」プロジェクト推進事業
- ・ふるさと納税推進事業
- ・6次産業化推進補助
- ・EATde 健康メニュー開発支援事業

まぐろ漁業振興事業

遠洋まぐろ漁業就業者への支援や母港基地化の推進、まぐろ漁船及び物資運搬船に対する補助等を行います。

- ・新規まぐろ漁業就業者支援金
- ・まぐろ漁船母港基地化奨励補助金
- ・まぐろフェスティバル運営補助
- ・薩州串木野まぐろプロジェクト支援事業補助金

沿岸漁業活性化推進事業

資源の維持増大、漁場環境の維持・保全のための人工魚礁を整備します。また、漁協等が実施する魚価や生産性の向上、経営の近代化等のための施設整備等に対して補助を行います。

- ・羽島漁港周辺環境整備事業 NEW
- ・新規沿岸漁業就業者支援金
- ・藻場環境推進事業
- ・沿岸漁業活性化推進事業補助金
- ・魚類種苗放流事業
- ・種子島周辺漁業対策事業補助金

農業振興事業

新たな農産物のブランド化や地元農産物のPR、消費拡大を図ります。また、生産基盤安定化のため、老化したサワーポメロの木の改植を行います。

- ・サワーポメロPR消費拡大プロジェクト NEW
- ・農村活性化支援員(地域おこし協力隊) NEW
- ・農産物ブランド化推進事業
- ・農家民泊推進事業
- ・活動火山周辺地域防災営農対策事業補助金 NEW



農業施設維持及び土地改良事業

- ・川南地区ほ場整備事業
- ・農業・農村活性化推進施設等整備事業(予定箇所：中ノ平地区)
- ・多面的機能支払交付金事業

林業振興事業

有害鳥獣による農林作物等への被害を防ぐための駆除に対し補助を行います。また、生活道路にかかっている保安林の支障木を伐採し、市民の安全を確保します。

- ・有害鳥獣捕獲事業補助金
- ・鳥獣被害対策実践事業補助金
- ・保安林支障木伐採事業 NEW

観光事業

ポスターの刷新や歩く旅(フットパス)のコースの設置、食を楽しむイベントの開催等により、本市への観光誘客を図ります。

- ・ふるさと観光特産品PR促進事業(観光ポスター作成) **NEW**
- ・歩く旅(フットパス)推進事業 **NEW**
- ・「WB S フェスティバル」「いちき串木野ふるさとのタベ **NEW**」等、食のイベント開催

商店街等活性化事業

商店街イベント・先進地視察・まちなかサロンの運営など、商店街の振興を図るための補助を行います。また、商工業の育成・振興のため、空き店舗等を活用し新規開業する事業者や、既存事業者の改装に対しての補助も行います。

- ・商店街振興対策事業補助金
- ・空き店舗等活用促進事業補助金
- ・商工業店舗リフォーム補助金

海外販路開拓支援事業

本市特産品の消費拡大を図るため、シンガポール等で開催される日本食見本市への出展費用に対する助成などを行い、市内業者の海外販路開拓を支援します。

無料職業紹介所設置推進事業

就労支援サービスを提供する、無料職業紹介所の設置に向けた準備を実施します。

企業の誘致促進及び育成補助金

市内への新たな事業所の設置等に対して拡充した助成制度を活用し、産業振興と雇用機会の増大を図ります。

- ・設備投資促進補助
- ・雇用促進補助

クルーズ船誘致推進事業

串木野新港の利用促進を図るため、クルーズ船誘致を推進し、ポートセールスなど積極的に取り組みます。



利便性が高く美しいまちを創造する『快適な環境のまちづくり』

社会基盤

都市計画・土地区画整理事業

人口減少下における都市全体の構造を見直す立地適正化計画の策定に向けて、今後も持続可能な都市経営を可能とするための基本的な調査研究を実施します。

- ・立地適正化計画策定共同調査研究事業 **NEW**
区画整理等により安全で快適に暮らせるまちを形成します。
- ・麓地区土地区画整理事業(事業年度：平成9年度～平成34年度)
進捗率約90%(平成30年度末事業見込み)
平成31年度：調査業務委託、道路・宅地造成、建物・工作物補償
- ・野元地区まちづくり道路事業

移住定住促進事業

移住定住の促進を図り、人口増対策に努めます。

- ・定住相談員の設置
- ・転入者住宅建設等補助
- ・定住促進補助

空き家対策事業

空き家対策を推進し、住環境の向上に努めます。

- ・空き家バンク制度
- ・空き家利用促進補助
- ・空家等対策協議会の開催
- ・危険廃屋等解体撤去工事補助

住宅等整備事業

- ・ひばりが丘団地改修事業(屋根外壁等)
- ・民間住宅リフォーム事業補助
- ・浜西住宅建替事業

道路等整備事業

地域間ネットワーク道路等の整備、橋梁の長寿命化、歩道整備等に取り組みます。

- ・道路新設改良事業：都心平江線、野元平江線、草良線、寺迫観音ヶ池線、伊倉ヶ迫線 **NEW** 他
- ・生活道路の改良等：弘山線
- ・交通安全施設事業：郷之原瀬下線
- ・橋梁長寿命化事業：橋梁の点検、設計、修繕を年次的に実施
- ・袴田地区市道用地調査事業 **NEW**



「都心平江線」完成予想図

公共交通

地域公共交通網形成計画に基づき、いきいきバスやいきいきタクシーなど公共交通を見直し、また甕島航路の利用促進を図るため甕島との交流ツアー等を実施します。

- ・地域公共交通網形成計画推進事業
- ・甕島航路活性化推進事業 **NEW**

ひとが輝き 文化の薫る

平成31年度当初予算 一般会計予算額172億8,700万円

いちき串木野市の平成31年度当初予算について、お知らせします。

今年度の当初予算は、前年度と比較して、14億3,700万円、9.1%の増となります。

歳入では、地方交付税やふるさと納税寄付金の増加が見込まれるものの、市民税などの市税や保育料無償化に伴う分担金及び負担金の減少が見込まれております。

一方、歳出では、人件費及び補助費等は減少するものの、扶助費及び物件費等が増加するため、財政調整基金等から基金繰入を行うとともに、学校給食センター建設等に伴い合併特例債等の市債を発行し、予算編成をしております。

今後は人口減少等に伴う減収が予想されており、厳しい財政状況が見込まれますので、これまで以上に徹底した事務事業等の見直しを行いながら効率的で持続可能な財政運営を図ることとしています。

● 一般会計・特別会計

(単位：千円,%)

会 計 名		平成 31 年度 当初予算額	平成 30 年度 当初予算額	対 比	
				増 減 額	増 減 率
一 般 会 計		17,287,000	15,850,000	1,437,000	9.1
特 別 会 計		8,769,028	8,779,826	▲ 10,798	▲ 0.1
内 訳	国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	3,802,852	3,951,482	▲ 148,630	▲ 3.8
	公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	862,742	848,000	14,742	1.7
	地 方 卸 売 市 場 事 業 特 別 会 計	250	253	▲ 3	▲ 1.2
	介 護 保 険 特 別 会 計	3,657,864	3,541,329	116,535	3.3
	戸 崎 地 区 漁 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	18,543	17,826	717	4.0
	後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	426,777	420,936	5,841	1.4
合 計		26,056,028	24,629,826	1,426,202	5.8

● 企業会計

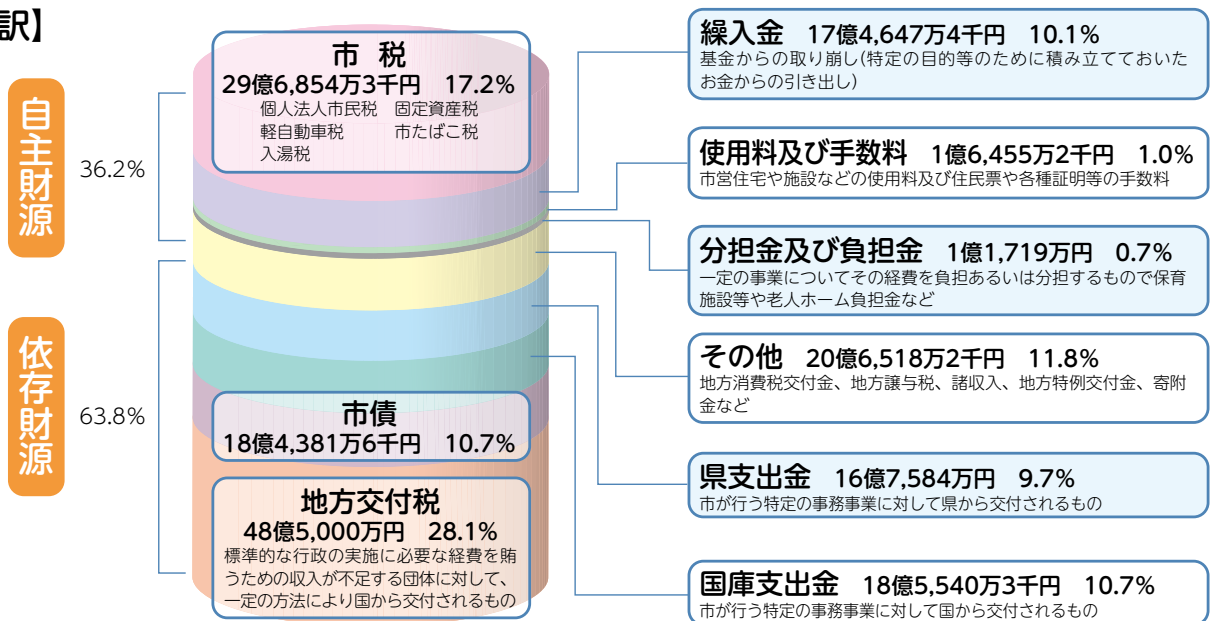
(単位：千円,%)

会 計 名			平成 31 年度 当初予算額	平成 30 年度 当初予算額	対 比	
					増 減 額	増 減 率
水 道 事 業	収 益 的 収 支	収 入	663,580	617,228	46,352	7.5
		支 出	641,250	648,880	▲ 7,630	▲ 1.2
		差 引	22,330	▲ 31,652	53,982	▲ 170.5
	資 本 的 収 支	収 入	272,557	270,577	1,980	0.7
		支 出	572,363	518,900	53,463	10.3
		差 引	▲ 299,806	▲ 248,323	▲ 51,483	20.7

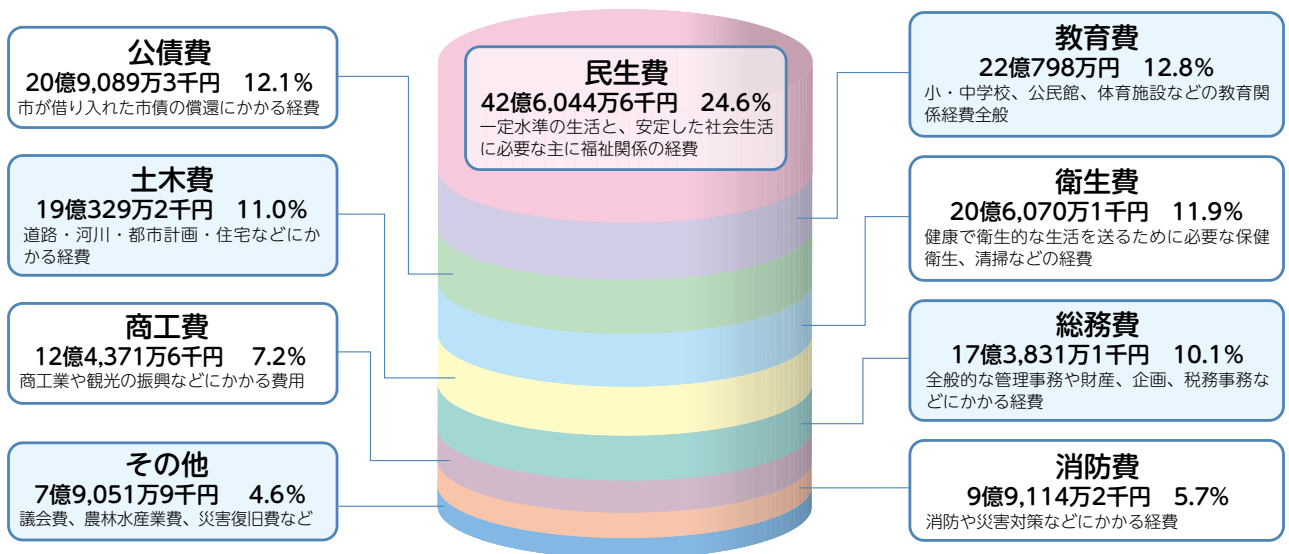
世界に拓かれたまち

● 一般会計歳入歳出状況

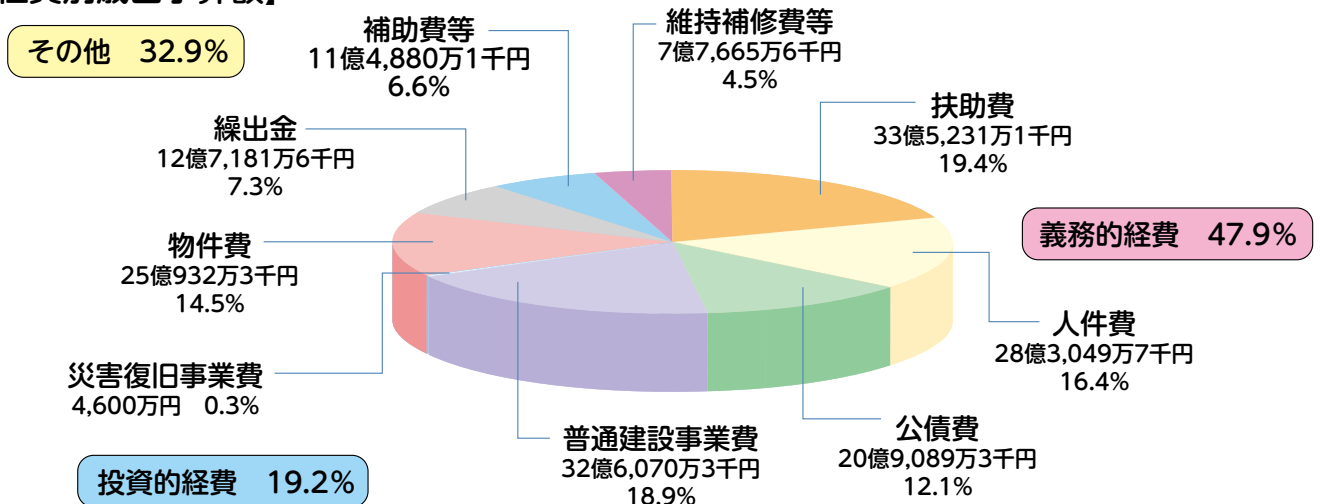
【歳入の内訳】



【歳出の費目別内訳】



【性質別歳出予算額】



平成30年度 市政懇話会を開催しました

「市政懇話会」を市内4会場で開催し、126人の市民の皆様に参加いただきました。

会では、地区ごとに提出されたテーマへの回答のほか、多くのご意見・ご要望等をうかがいました。庁内において検討し、今後のまちづくりに活かしていきます。

今回は、地区のテーマ内容に対する市の考え方などの一部を紹介します。詳しくは市ホームページをご覧ください。

なお、市の考え方については、会の開催時点のものです。

実施会場		
地区名	日 時	人数
生 福	11月1日	52人
旭	1月17日	18人
中 央	1月21日	30人
湊	1月24日	26人
合 計		126人

政策課 (☎33-5634)

地区テーマに対する市の考え方

● 地区の主催行事を高齢者元気度アップ・ポイント事業の対象にできないか 《生福地区》

質問の内容

市が主催するポイント付与の対象事業は、健康診断、各種教室スポーツ大会、交通安全教室、消費生活講座など様々で多岐にわたっている。高齢者の健康寿命を延ばし、医療費の縮小を図るには、市が主催する各種の対象事業に加え、地区まち協が主催する同種の各種事業もポイント付与の対象事業にできないか。

市の考え方

高齢者元気度アップ・ポイント事業は、市民の皆様が納めている税金や介護保険料が原資となっており、公正・公平を期するため、ポイントの付与にあたっては、市等が実施するがん検診や出前講座、ウォーキング大会等の参加者を対象としているところです。

そのため、現時点では、地区が開催する行事を対象として、拡大することは考えておりません。

なお、地区の行事の際に市等が実施する出前講座等を組み合わせることで、ポイント活用は可能です。

また、団体ポイント事業については、高齢者の社会参加により互助力を高めることを目指して、新たに、地域内の高齢者のごみ出しなどを支援する住民主体の生活援助活動を対象に加えるなど、一部見直しを行いたいと検討しているところです。



● 自動車運転免許証返納者への支援策について 《旭地区》

質問の内容

運転免許証返納をした場合、交通手段が心配。今後、ますます高齢化が進むと、このままでは問題が大きくなることが懸念される。市が地区に貸し出すコミュニティ自動車も検討したが、経費面では対応できないと判断し、現時点では導入をしていない。

市の考え方

高齢による身体機能の低下などにより、自主的に運転免許証を返納する方が、本市でも年々増えてきており、今後、移動手段の確保の重要性はますます高まるものと思われます。

現在、免許証を返納した方への支援としては、市内のタクシー乗車料金の割引(1割)などが企業努力により行われています。

市では、路線バスへの補助やいきいきバスの運行などにより交通弱者の移動手段の確保に努めているところです。しかし、本市の公共交通の現状は、利用者の減少や維持費の増大など多くの課題を抱えており、そのため、平成30年度、地域の実情に応じた市全体を見渡した持続可能な公共交通ネットワークの形成を図るため、公共交通網形成計画の策定を進めております。

今後、本計画に沿った具体的な見直しを行う際に、地域の皆様と協議していきたいと考えています。

● 空き地・空き家対策について 《中央地区》

質問の内容

空き地、空き家対策について顕著な改善が見られない状況は、管理責任者や所有者が市内や近隣地区にいない状況と聞くことから、ふるさと納税制度を活用して善処できないものか。

市の考え方

市では苦情の寄せられた物件については現地確認し、土地・家屋の所有者又は管理者へ適正な管理をお願いしているところです。

現在、空き地の草刈りなどについては、ふるさと納税の返礼品目としてサービスを提供する事業所がありますが、空き家の管理については、サービスを提供する事業所がないため実施していないところです。

このようなことから、空き地や空き家の管理については、基本、個人財産のため、今後も所有者などへ適正な管理について根気強くお願いしていきたいと考えております。

● 自主防災組織の強化のあり方について 《湊地区》

質問の内容

湊地区の置かれた地理状況から、想定される被害は大里川の氾濫や高潮だと思われる。避難所は標高の低いアクアホールとなっているが、変更した方がいいのではないか。

市の考え方

湊地区においては、いちきアクアホールを第1避難所として開設し、1階の畳部屋の控室を使用しております。また、大里川の氾濫や高潮が予想される場合は、より高い場所への避難が必要となることから、2階の床高4mの多目的室へ移動していただくよう考えています。

また、災害の状況等に応じて、市来農芸高校、市来高齢者福祉センター、漁民会館、浄泉寺、西村寺、市来保健センター、市来保育園を第2避難所として開設するほか、津波対策用の避難適応場所として、海拔6mの湊中央公園、18mの小原墓地付近、14mの小城団地付近、24mの安茶ヶ原付近、53mの外戸公民館付近、45mの北ノ原付近を指定しております。さらに、長期的な避難が必要となった場合は、総合体育館も併せて活用することとなります。

市としましても地域における共助の取組が推進されるよう地域防災の充実に向けて支援したいと考えております。

ゆる〜くご縁をつなぐコミュニティバー「NAO's Bar」

あと少しで
閉店します

JR 串木野駅前のiテラスさんをお借りして、毎月第1、第3金曜日20:00〜23:00に営業していますが、地域おこし協力隊の任期中にNAO's Barを閉店することとなりました。残りの任期は2か月ちょっと。具体的には決めていませんが、6月には閉店する予定です。振り返ると、地元の兵庫県たつの市に帰った時に、「コミュニティバーふるさと」というお店を見つけ、その居心地の良さに感動した僕は、「鹿児島にも同じような場所を作りたい」と活動を始めました。飲食店のバイトすら経験したことのない僕が飲食店の営業を開始したのは昨年4月。月に2回だけの営業ですが、1年間続けることが出来ました。これは、お店に来てくださるお客様がいたからです。本当にありがとうございました！

2016年7月にいちき串木野市の地域おこし協力隊になって2年と10か月。あっという間でした。僕が活動する上で大事にしてきたことは、「いま住んでいる地域のみなさんが、いま住んでいる地域のことを好きになってもらう」ということでした。地域の方と話をすると、よく「ここには何もない」とか「(何もないのに) どうしてこんな所に来たの?」ということを言われます。でも、「何もない」わけではなく、「当たり前すぎて良いもの、良い場所に気付いていないだけ」だと思います。だからこそ、皆さんにいちき串木野市には良いものがある、良い場所がある、ということに気付いてもらえるような活動をしてきたつもりでした。結果がどうだったかは、よく分かりません。この3年間は、浮いたり沈んだりを繰り返す日々でした。協力隊を辞めたいと考えることもありましたが、でも、色んな人と他愛のないお話をして元気をもらったり、真剣な相談を聞いてもらったり、周りにいる人に支えてもらいながらここまで続けることが出来ました。ありがとうございました。任期終了まで2か月ちょっと、引き続きよろしく願いいたします。



鹿児島に来てすぐの写真。
今よりも10kgは痩せてました。

チャレンジ農業♡おごじょ塾通信

～第30号～『おごじょ、大志を抱く』

農政課 (☎33-5635)

特集 ～☆卒塾生を訪ねて☆～

第3期の閉講式を終えたおごじょ塾。サクラ満開の4月になり、外での農作業がとても気持ちいい季節になりました。…さて、卒塾したおごじょ達はどのようにしているかな…？今回は、本格的に果樹栽培への道を歩み出した2人の卒塾生を訪ねてみました(*^_^*)

～みかんの産地を次世代へ繋ぎたい！～ 池田郁代さん



サワーポメロの苗
100本を新植！

4年前に名古屋からリターンし、実家のみかん店を継承した池田さん。経営に携わる中で、本市の農業の様々な課題を痛感します。本市は果樹の産地ですが、生産者の高齢化などにより、生産量が年々減少し、荒廃地も増加しています。危機感を抱いた池田さんはおごじょみかん隊を経て就農を決意！

後継者のいない畑を借り受け、土地の整備から始めました。静かな山奥に、見違えるような園地が誕生しました♡農業は決して甘くはありません！覚悟を決め、5年後、10年後の未来に夢を抱いて、農作業に励む池田さんでした♪



まるで畑の芸術！？
シカ対策もバッチリ！

～親子3代おいしいみかんを守り育てる～ 高橋さやかさん



大里地区のみかん農家「森の蔵農園」で生まれ育った高橋さん。おごじょみかん隊に所属する一方で、ジャムやフリーズドライ商品の開発など、お父様の栽培した果実を使った加工活動に取り組んできました。

「加工活動は、生産活動の上に成り立っている」と実感するようになった高橋さんは、大里の美味しいみかんを子や孫に残していきたい…と、みかんの生産活動にも取り組むことを決意。農園の裏山を整備し、新たに苗を植えました。慣れない作業に戸惑う毎日ですが、森の蔵農園の3代目とし、生産活動&加工活動に意欲を燃やす高橋さんでした！



約50本の苗を新植。
穴掘りも作業頑張りました！

健康なまちづくり

串木野健康増進センター (☎33-3540)

がん検診の利益・不利益とは？

がん検診の目的は、単に多くのがんを見つけることではありません。無症状のうちにがんを発見し、治療を行い、がんによる死亡を減少させることです。がん検診にはメリット(利益)と、デメリット(不利益)があります。正しい知識を持って受診しましょう！

メリット (利益)

- 1 早期発見し・早期治療につなげる。
- 2 早期に治せる可能性が非常に高く、治療も軽くすむ。
- 3 がん以外の病気を見つけることもできる。
- 4 ひとまず安心を得られる。

デメリット (不利益)

- 1 判定や診断は100%ではない。
- 2 要精密検査となって不必要な検査や治療を受けてしまう可能性がある。
- 3 検査によっては臓器を傷つける可能性もある。



「メリットを最大に、デメリットは最小」を目指す！

検診名	検査内容
胃がん検診	問診・胃部X線検査(バリウム)
大腸がん検診	問診便潜血検査2日法
肺がん検診	問診・X線検査(喀痰検査)
子宮頸がん検診	問診・視診・細胞診
乳がん検診	問診・マンモグラフィ検査



いちき串木野市のがん死亡率を減少させるため、左の5つのがん検診(対策型検診)を国の指針に基づいた科学的に効果が明らかな検診法で行っています。これ以外の検診は任意型検診と呼ばれ、個人の死亡リスクを下げるために受けるものです。

食彩だより

海・山など自然に囲まれ、様々な食材・食文化に恵まれたいちき串木野市の食に関わる情報をお伝えします！

農政課 (☎33-5635)

馬鈴薯



馬鈴薯(じゃがいも)は、羽島・荒川地区を中心に生産され、国の野菜指定産地として指定されています。近年は生産農家の高齢化などにより、栽培面積が減少していますが、本市を代表する作物の一つで、今年も立派に育った馬鈴薯が収穫されています。

馬鈴薯の主成分はでんぷんですが、ビタミンCやカリウムが多く、ヨーロッパでは「大地のりんご」と呼ばれ、健康野菜の代表格です。

シンプルに蒸かしてバターで食べてもよし、煮物に入れるのもよし、焼いて調理するのもよしと、様々な料理の材料として活用でき、食卓でお楽しみいただける食材です。



作業風景 トラクターからコロコロと出てきます



太陽をいっぱい浴びて育ちます

貧血予防レシピ

馬鈴薯とほうれん草のバター炒め

馬鈴薯のビタミンC＋鉄分で貧血を予防！

材料(2人分)

馬鈴薯 中3個・ほうれん草 3～4束
バター 大さじ1・オイスターソース 大さじ2
みりん 大さじ1

1. 野菜を一口大に切ります。(小さめがおすすめ)
2. フライパンにバターを引き、馬鈴薯を炒め、ほうれん草を加えます。
3. オイスターソース、みりんを加えて中火で炒めたら完成！

まちの話題



全国子ども会連合会表彰報告



2月23日から25日に石川県金沢市で開催された、全国子ども会育成中央会議・研究大会で、平野道幸さんが全国表彰を受賞されました。平野さんは平成9年から21年間、いちき串木野市子ども会育成連絡協議会長など、子ども会活動に携わりその功績が認められました。今後も“地域の子は地域で育てる”青少年健全育成活動が期待されます。

新入学児童へ防犯グッズ贈呈



3月26日、いちき串木野地区防犯協会から、新入学児童へ防犯グッズが贈呈されました。

これは、青少年育成事業の一環として、新入学児童等の不審者による連れ去りや誘拐等、登下校時に犯罪被害に遭わないよう、のぼり旗や「いかのおすしミニタオル」などの防犯グッズを贈呈したものです。

地域とのつながり学ぶ パネル贈呈



3月14日、旭小学校へ三井串木野鉱山株式会社からパネルが贈呈されました。

これは、旭小学校の歴史や三井串木野鉱山株式会社との関わりについて、児童にも興味を持ってもらおうと贈呈したものです。

パネルを受け取った児童を代表して、6年の宮田遥奈さんは、「調べる中で、旭地区や伝統芸能の石当節と関連が深いということがわかりました。貴重なパネルをありがとうございました」と話しました。

グラウンド・ゴルフ ホールインワン基金で AED 寄贈



3月26日、市来グラウンド・ゴルフ協会から市社会福祉協議会へ自動体外式除細動器(AED)が寄贈されました。

これは、鹿児島県グラウンド・ゴルフ協会が開催する各種大会でホールインワンした方が行う寄付を基金として積み立てたものから、市来グラウンド・ゴルフ協会を通じて贈られたものです。

100歳おめでとうございます

2月25日に橋口ヨシエさん(橋ノ口)、3月8日には柏木キミさん(袴田)、3月10日には内屋藤さん(別府)、3月15日には坂口フミさん(大原町)が、100歳の誕生日を迎えられました。

今回、100歳を迎えられた皆様には、市からお祝いの花や記念品などを贈呈しました。現在、本市の100歳以上の方は28名(3月20日時点)です。

いつまでもお元気で長生きしてください。



橋口 ヨシエさん



内屋 藤さん



坂口 フミさん



五穀豊穣願い 3つの祭り奉納

市内3か所の神社で、今年の豊作や人々の無病息災などを願う祭りが奉納されました。多くの人たちが訪れ、各地域の春祭りを楽しみました。

ガウンガウン祭



3月3日、深田神社境内で「ガウンガウン祭」が奉納されました。田打ちの即興劇では、テチョ(父親)を転ばせると豊作になるとされ、地域の子も達がテチョを何度も転ばそうとクワの形をした木の枝で足を引っ掛け転ばせます。太郎、次郎とのユーモラスなやりとりや、牛が暴れ出すなど、観客を巻き込んで、多くの笑いを誘っていました。

太郎太郎祭



3月10日、羽島崎神社で「太郎太郎祭」が開催されました。

今年は雨のため、拝殿での披露となりましたが、「舟持ち」と「田打ち」に8名が参加。「舟持ち」では、「やーすよい」という船をこぐ際のかけ声が響く中、晴れ着姿の数えで5歳になる子どもが小さな船を持ち、拝殿内を海に見立てて周回し、健やかな成長と豊漁を祈願しました。「田打ち」では、テチョ(父親)と太郎のユーモラスなやり取りに会場は大きな笑いに包まれ、クワの形をした木を持った子どもが、苗を植える様子を再現し、健やかな成長と豊作を願いました。

びょうびょう祭



3月24日、荒川地区南方神社で「びょうびょう祭」が行われました。

祭りは、2年毎に奉納されており、五穀豊穣と地域の安泰を祈願します。テチョ(父親)が太郎(息子)に稲作の手順や牛の使い方を面白おかしく教える寸劇で、木の枝葉を田に見立てた境内にまき、田を耕す風景から始まります。今年は、テチョと太郎による軽妙なやりとりに母親が加わり、観客を巻き込んだ田園シーンを再現。会場内は、絶えず笑いと歓声が上がっていました。

当日は、荒川小学校児童による荒川太鼓や、地元婦人会の踊りなども披露されました。



第八回音楽のつどい開催



2月24日、市民文化センターで音楽のつどいが開催されました。

合唱にはじまり、ピアノ連弾やハーモニカ、バンド演奏、箏と装道の共演、サクソ演奏など多くの舞台発表が行われ、子どもから大人まで幅広い年代の発表がありました。

また、ロビーでは書道や絵画の展示、お茶のふるまいなども行われました。

黎明の地ふるさと短歌大会優秀作品看板設置



3月10日、羽島崎神社境内で、黎明の地ふるさと短歌大会優秀作品掲載看板の除幕式が開催されました。今回設置したのは、第1回大会の大賞と最優秀作品です。歌人萬造寺斉の歌碑の横に設置してありますので、ぜひ、ご覧ください。

来館者17万人達成
～薩摩藩英国留学生記念館～



3月17日、薩摩藩英国留学生記念館の来館者が17万人となりました。

17万人目となったのは、枕崎市からご家族で来られた藤井美奈子さん。藤井さんは、郷土の偉人を学ぶため来られたとのことで、「初めて訪れたのに17万人目でもとてもラッキーでした。鹿児島の歴史にもっと触れていきたいと思います」と感想を話しました。

さくら祭り



3月31日、桜の名所である観音ヶ池市民の森で第17回さくら祭りが開催されました。

会場では、市内特産品の販売が行われたほか、金峰権現太鼓や琉球太鼓などの催しも行われました。訪れた人々は、お弁当を広げたり、散策するなど、桜を見ながらそれぞれの時間を過ごしました。

からいも交流生 来訪



第38回からいも交流・春の留学生3人(中国・台湾)が本市に滞在しました。

留学生3人は3月10日から17日までの8日間、市内の家庭にホームステイをしながら、農業体験や学校訪問・市内見学などを行い、多くの市民と交流しました。

市来温泉センター
リニューアルオープン



3月25日、工事のため一時閉店していた市来温泉センターがリニューアルオープンしました。

今回の工事では、サウナ、露天風呂、ロビーが刷新されました。

愛知県から来たという赤岩忍さんは、「温泉が好きで、年に3回くらい来ている。今度のリニューアルオープンも楽しみにしていた」と話しました。

もしもに備え健康講話



3月15日、中央地区まちづくり協議会で健康講話が開催されました。

医師の下高原淳一氏を講師に招き、「急性心筋梗塞、胸痛への対処法が分かる！！」と題して講話があり、60名を超える住民が参加しました。

糖分の摂り過ぎが原因となることや、緊急時には心臓マッサージやAEDを使った対処が必要であることなどを学びました。

市政CIVIC NEWS ニュース

市ではこんなことをしています



サワーポメロ祭り

農政課 (☎33-5635)



3月10日、季楽館でサワーポメロ祭を開催しました。あいにくの天気でしたが、生産者によるサワーポメロの試食販売や、サワーポメロを加工したスイーツやジャムなどの販売に多くの方が訪れました。

また、会場ではサワーポメロハーバリウム作り体験や、収穫体験も行われ、多くの来場者で賑わいました。



第15回関西かごしまファンデー

観光交流課 (☎33-5640)



3月3日、鹿児島県の観光や物産など「ふるさとの旬」を提供する「第15回関西かごしまファンデー」が京セラドーム大阪で開催されました。

会場は3万5,000人を超える郷土出身などの来場者で熱気に溢れ、本市は特産品のつけあげ・焼酎など12社が出店し、いち早く完売するなど大盛況でした。また、ステージ部門では串木野さのさ保存会による「さのさ踊り」が披露され、観光ブースではPRレディーによる観光PRを行いました。



EATde(いーとで)健康メニューの新メニューが誕生しました！

食のまち推進課 (☎33-5621)

「EATde(いーとで)健康メニュー」の第6期分として2メニューを新たに認定しました。エネルギー量や塩分量を気にしている方でも安心して食べられるメニューとなっています。ぜひ各店舗へ足を運んでみてください。提供店舗やメニュー、カロリーなど詳しくは食のまち推進課までお問い合わせください。

◆「EATde(いーとで)健康メニュー」とは・・・糖尿病とその予備群や肥満の方などに適した総エネルギー600kcal未満、食塩相当量3g未満で栄養バランスが整った外食・中食メニューです。

🍴 新メニュー 🍴

「NAGOYA あんかけオムライス」980円(税込)



【提供店舗】スパゲッティ ポノボーノ
○住 所 曙町149番地
○電話番号 33-0019

「羽島ちりめんラーメン」700円(税込) ※要予約



【提供店舗】はしまごはん処 たもいや。
○住 所 羽島5397-3
○電話番号 35-0153

EATde 健康メニュー第7期分の募集について

市では第7期分のメニューを募集しており、飲食店、惣菜店、弁当店などのご応募をお待ちしています。EATde 健康メニューに関する詳しい内容については、食のまち推進課までお問い合わせください。